

# まるこやま

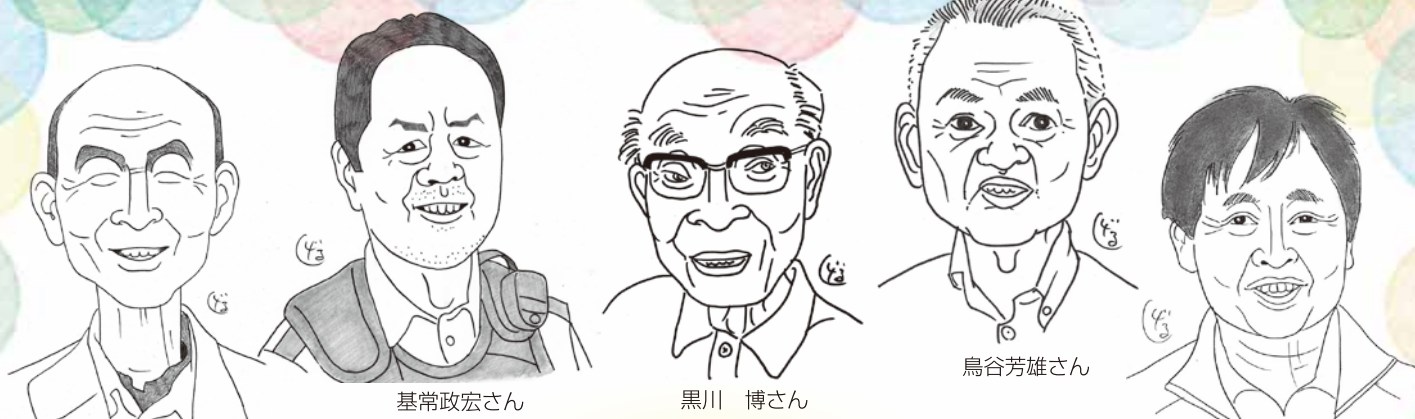
第61号

令和2年5月20日

〒699-1251  
雲南市大東町大東2419-1  
大東交流センター  
TEL (0854) 43-2130  
E-mail: daito-c@hotmail.co.jp

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会



遠田 博さん

基常政宏さん

黒川 博さん

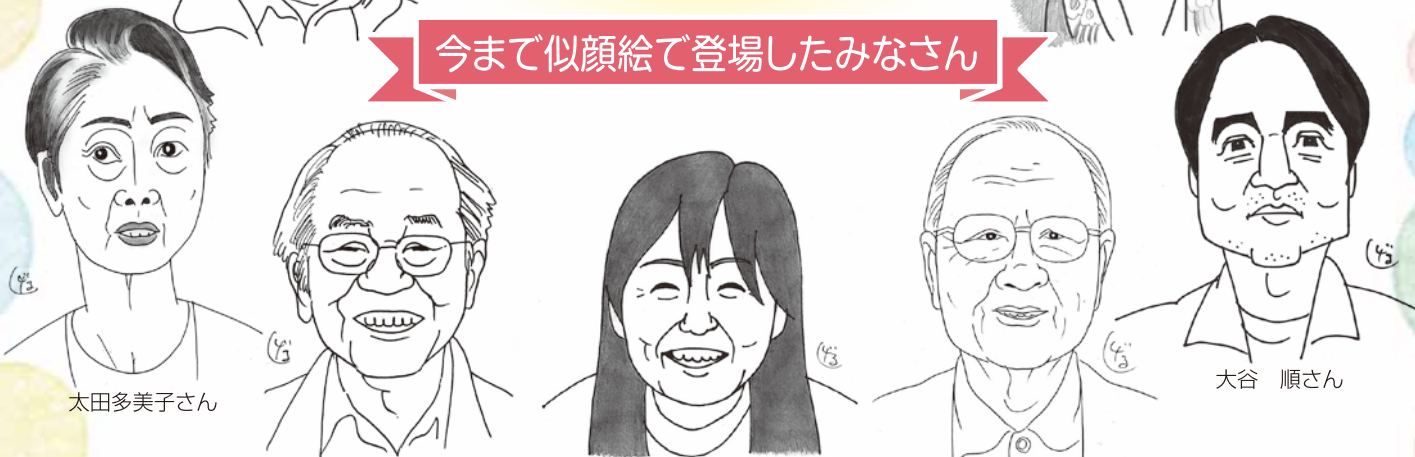
鳥谷芳雄さん

村尾隆晃さん

みんなで  
コロナの危機を  
乗り越えよう!

石川 勝さん

曾田美佐子さん



太田多美子さん

蓮岡法障さん

南波由美子さん

難波幸夫さん

大谷 順さん



白根三代子さん

光谷由紀子さん

石飛英治さん

藤原 馨さん

絵：細田 滋さん（大東町東町北）

# ボランティア活動と 子どもの成長

新庄通学路等ボランティアの会  
事務局 水戸 勝春

平成28年に集落の民生児童委員であった古瀬さんと大村さんの呼びかけで「新庄通学路等ボランティアの会」を4人で結成しました。

交通量の多い県道松江木次線を通学路として登下校する集落内外の児童・生徒の安全を確保しようとの思いからでした。

- 1) 朝の登校時の見守りと挨拶運動
- 2) 冬季の通学路確保の除雪作業
- 3) 子どもと一緒に夏休みのラジオ体操

等の活動を行って4年が経過します。

現在はメンバーも増え、7人で活動をしています。今年は、2月に1回通学路の除雪を行いました。また、朝の登校見守りはコロナウイルス感染予防の為休校になっていることで、その機会も減っています。



2月の除雪作業



朝の見守り活動

3月には、今年小学校を卒業した子どもさんから、「朝の見守りとあいさつをしていただきありがとうございます」とスタッフ宛にお礼のコメントをいただき、少しずつ活動の成果を感じています。

日々成長して行く子どもたちの健全育成に役立てばと思い、スタッフみんなでこれからも私たちにできる活動を続けて行きたいと思っています。



## ホームページを リニューアル しました!



<http://user.yoitoko.jp/daito-c/>

**ぜひ、アクセスしてみてください!**

ホームページをリニューアルしました。  
フェイスブック  
FacebookとGoogleカレンダーが埋め込まれています。

スマートフォンやタブレットであれば、QRコードをご利用ください。(一般の検索サイトでは、まだ表示されません。)

今後、様々な活動の事前案内や報告に使っていきます。ぜひ、「お気に入り」に加えてくださいますようお願いいたします。

遠方に在住のご親族やお知り合いの方に紹介いただければ、大東の様子をお伝えできます。本紙「まるこやま」も過去号から最新号まで簡単に閲覧ができます。



## 全国からの お便り



# [大東の思い出]

大阪府寝屋川市 渡邊 嘉之(本町出身 82歳)

故郷の思い出として私の心に残る風景は、「丸子山の梅・桜」「赤川の自然」「ほたる」「たなばた」「仲間と一緒に見た火の玉」などです。走り回って遊ぶのが好きな私には、七夕の準備はシンドイ思いでした。「こより100本/人」「早朝の竹取り」「短冊づくり」「寄付集め」「スイカ提灯貼り」などワイワイ言いながらの作業で仲間意識が醸成され絆が出来て、自分の成長に大変役立ちました。祭り本番は疲れて元気が出ませんでした。

こよりづくりの経験は、会社時代にお役所申請書類の袋とじに役立ちました。私は上手だったので鼻高でしたが、後年は紐とじが許容されて、こよりを使わなくなり残念。

大東を出てから64年。時々帰省して子どもの頃一緒に遊んだ仲間と懇親会「本町ガキ連会」でイナゴを取って食べたナ～、栗・アケビを取り、布で固めたボールで三角ベース野球、赤川で遊んだナ～など。その時々での失敗談で談笑が尽きませんが、思い出の多くは小学生の頃。

国民小学校入学時は戦争中だったので、グラウンドを耕して芋を植え、満足な教材も無いので教室では草履の作り方を教わり通学に履いて喜び、下校は赤川沿いの桑畑のイチゴを食べなが

ら幸せを感じ、戦後の食糧不足の中でひもじい思いをしながら成蓮寺で缶蹴り、チャンバラ、さかな取り、など自然の中で楽しい時を過ごしました。大阪に来て一番感じたことは、シーンという静かな「闇」を感じる事が出来ないことです。転勤で東京に暮らした時も「喧騒」と人の多さが目立ち、都会と言うイメージを感じることは無く、大東の方が優雅な暮らしが出来ますね。

中学校では宗専寺の和多田先生監督の野球で遊びましたが、いつも負けていました。野球のTV中継でタイガースの糸原選手が大東中学校出身と表示された時はビックリ。最近では全国大会でも指折り校と聞いて納得しましたが、すばらしい監督・コーチですね。全国から選手を集める大阪の学校に比べ、大東中学校の方が優秀と思います。

大阪では某電機会社で新商品企画・開発を30年。市内散策やテレビなどで開発商品を見かけて昔を思い出すこの頃です。壊れたパソコンを再生したり、PCサポートのボランティアや陶芸、太極拳での体力維持などで余生を送っています。

大東発展のため、皆様のご活躍を期待しております。



趣味の陶芸作品

にがおえで  
こんにちは!

## 明るい未来を信じて

「大東七夕応援計画」代表 原田 憲一

原稿の依頼を受けたのは、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が延長されたころでした。今は、一日でも早く普通の日常生活にもどって欲しいと願っています。

私は、数年前に「大東七夕まつり」をさらに楽しめたらと、地域の有志と「大東七夕応援計画」を結成しました。その七夕まつりも今年は実施されないとのこととても残念ですが、これも仕方ありません。

私たちの活動では、大東高校生の手作りイヤリングを行列に参加する子どもたちにプレゼントしたり、県外や外国の方に行列参加を呼びかけ楽しんでいただいたり、また、祭りの力で人と町を元気にしようと全国各地で活動している団体「マツリズム」と記録動画を作成し、全国に魅力発信したりしています。

最近、私たちの活動に娘世代の若い人たちも参加してくれるようになりました。この七夕まつりが、自分にも地域にもとても大切だと感じているからという動機を話してくれました。

今年は開催されなくても、何かインターネット等を通じて、この先へつながる取り組みができないかと、大学生の角谷さん(大東)や吉川さん(木次)を中心に相談しています。

前述したように今はとても大変な社会情勢ですが、こうして地域のことを何とかしたいと考えてくれる若い世代の話を知ると、明るい未来があると信じずにはいられません。及ばずながら私も一緒にできることをしようと考えたこの頃でした。



(絵:大東町東町北 細田 滋)

# 郷土の暮らしと文化

## 貴重な産業遺跡「大東の鉱山」

大東の歴史を探ねる会 宮澤 明久

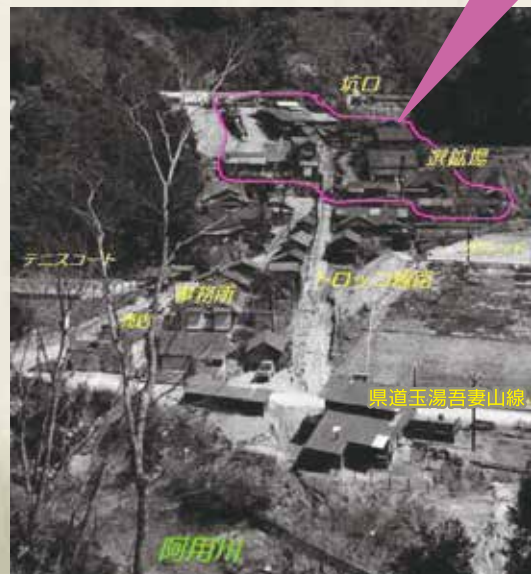
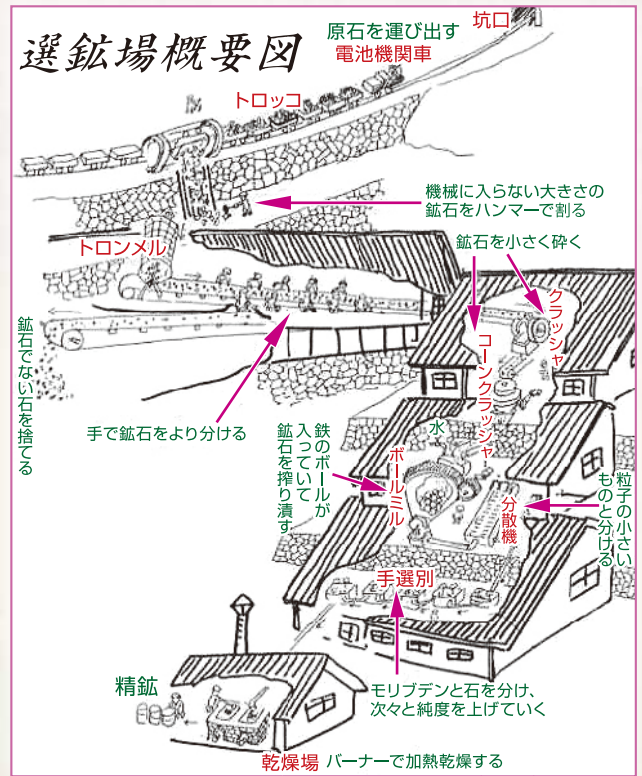
明治45年に平田の大峠由太郎から鉱物の採掘・探査を依頼された阿用地区川井の前金谷石原弥太郎と石橋屋土谷清太郎は、清久山腹でモリブデン鉱の露頭を発見した。これが大東鉱山の始まりである。

しばらくは用途も狭く手掘りで休眠状態であったが、昭和14年に清久鉱山が採掘を始め、同12月には大東鉱山、翌15年には東山鉱山と続いた。その後、大東鉱山は太陽鉱工(株)大東鉱業所、東山鉱山は妙中鉱業(株)東山鉱業所、清久鉱山は清久鉱業(株)清久鉱業所として本格的な操業を始めた。第二次大戦中は兵器製造上重要な資源となり徴用として従業員の確保も進められた。選鉱場が必要となり昭和19年7月には北日本鉱業(株)大東精錬場が旧大東中学校西方の山腹に階段状に築かれた。旧校庭は選鉱後の排滓池であった。

しかし終戦とともに需要が無くなり各鉱山とも休止山となったが、昭和25年に起きた朝鮮戦争により需要が増大し各鉱山が採掘を再開した。昭和35～36年頃に最盛期を迎え、大東鉱山には250名の従業員がいたと社内報「たいよう」創刊号に大東鉱業所武田所長が紹介している。鉄にモリブデンを加えると耐摩耗性や抗張力が生まれることから特殊鋼として利用されるなど需要も急増して行き国内総生産の約70%を占め、昭和30～40年代には町中に数多くの飲食店や映画館もあり賑わいを見せていた。

しかし昭和40年代に入ると新鉱脈の発見と採掘が困難になり閉山に向かって行った。昭和60年に閉山に至ると武田所長によりモリブデン鉱を釉薬に使った出雲大東窯が始められ今日まで続いている。

現地は、現在安全のために坑口は閉じられているがズリの集積場・積込場跡などが多数残存しており貴重な産業遺跡、大東の歴史的遺産として活用が望まれる。



**ご寄付に感謝致します**  
皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

- ・大東町(本町) 山崎 桂様 (香典返し)
- ・大東町(新庄東) 大久保豊美様 (香典返し)
- ・大東町(東町上) 錦織 英夫様 (香典返し)
- ・大東町(北町) 角森 宏一様 (香典返し)

大東地区振興あいあい募金運営委員会 (TEL: 43-2130)

### 令和元年4月末現在の人口・世帯数【( )内は対前々月比】

項目	雲南市	大東町	大東地区
総人口	37,450人 (▲270人)	11,942人 (▲76人)	3,504人 (+13人)
男性	18,040人 (▲152人)	5,805人 (▲46人)	1,678人 (+5人)
女性	19,410人 (▲118人)	6,137人 (▲30人)	1,826人 (+8人)
世帯数	13,760世帯 (+12世帯)	4,172世帯 (+1世帯)	1,260世帯 (+10世帯)
高齢化率	39.18% (+0.32%)	38.91% (+0.24%)	—

資料：雲南市HPより

